

試験対策 日清・日露戦争

<条約改正P204~>

- a _____号事件で、条約の不平等さを実感。
- ・近代化も富国強兵も進んだし改正してもらえないかな。
 応じてくれたのはイギリス。(日英通商航海条約)
- b _____の撤廃。このときのヒーローはc _____

<日清戦争P205~>

- ・でも、まだ欧米にはかなわない。そこで、日本も植民地を狙う。
 手ごろな場所は朝鮮半島。しかし、清の属国。
 - ・そんなときに、朝鮮へ出かけるきっかけがあった。
 1894年d _____が起こる。(清が対応にあたる、が…)
- ↓日本も出兵してみた。戦争になった。

e _____戦争～日本 VS 清

↓近代化にたちおくれた清に勝利。

戦争が終われば必ず条約→ f _____を結ぶ。

～地図ですよ～

- ・ g _____の独立を認めさせた。
 (清の属国ということがよけいだったから)
- ・ 約h _____円の賠償金をもらった。
 (九州に i _____を建設する資金に)
- ・ j _____をゲットした。

↓ところが、jを返しなさいとk _____
 このときの3国は l _____。

覚え方：三国干渉でドクロ踏む(独・露・仏む。)



(特に、中心になったロシアがめんこくない。)

<日露戦争P206~>

- ・日清戦争後「中国は眠れる獅子ではなく、子猫！なあんだ弱かったのか」
 ↓(植民地で儲けようという考え方～m _____主義のエジキに)
- ・それは中国人にとっておもしろくないアルヨ。そこで反発！n _____事件
 ↓(各国が軍隊を送り静める。そんな時にロシアが調子に乗って南下してきた)
- ・日本一国では勝てない！そこで1902年o _____同盟
 (この同盟は対p _____を意識した同盟。)
- ・そのころの日本では
 「ロシアなんてやっつけてしまえ！」「ギャフンと言わせてやれ！」
 (実際に「ギャフン！」という人に会った事がない。)
 というように戦争へのムードが高まっていた。
- ・結局日本は、韓国へ上陸し戦争へ突入！

q _____ 戦争 ~ 日本 VS ロシア (露)

- ・ 互角に戦うが、r _____ の大統領 (T・ルーズベルト) の仲立ちで終戦。
戦争が終われば必ず条約 → s _____ を結ぶ。(アメリカの都市)

t _____ 半島 (南) 部 ・ u _____ の (南) 半分 ・ v (南) _____ 鉄道

↓ (あれ? 賠償金は? 前は3億ももらったのに... 今回はナシオ。)

w _____ ため国民キれる。 ~ 日比谷焼き討ち事件 ~

↓ (おっし! じゃまものロシアは消えたぜ。)

韓国を一度保護国としたあとで、1910年 x _____ を実行。

(以後36年間日本が植民地とする)

- ・ これで欧米に肩をならべ、富国強兵も実現しいに条約改正。

1911年 y _____ の回復。今回のヒーローは z _____ でした。

この年、清が滅び、A _____ の成立 (覚えておくことは...)

B _____ が、C _____ 主義を唱え、D _____ 革命を起したこと。

図1

<日本の産業革命P212~P220>

- * 詳しくは次のページでやりますが...

江戸末期 ~ 図1 E _____

明治初期 ~ 図2 F _____

- * 日清戦争後 ~ G _____ の分野で産業革命!
(製糸業、紡績業など)

1901年に八幡製鉄所で気合をいれて

- * 日露戦争後 ~ H _____ の分野で産業革命!

- ・ 問題の発生

公害: I _____ 事件。田中正造が頑張るが...
(政府「こいつはイカしてるから無視」)

労働者: 労働条件を改善したい。

労働組合が中心に J _____ をおこす。

- ・ 社会主義運動もおこるが、天皇にさからった (大逆)
として弾圧した K _____ 事件。

(L _____ ら処刑)

- ・ 一方では西洋の文学も学ばれた。次の第8講で確認!

解 答

- a、ノルマントン b、治外法権(領事裁判権) c、陸奥宗光 d、東学党の乱(甲午農民戦争)
e、日清 f、下関条約 g、朝鮮 h、約3億円 i、八幡製鉄所 j、リヤオトン半島 k、三国干涉
l、ドイツ・ロシア・フランス m、帝国 n、義和団 o、日英 p、ロシア q、日露 r、アメリカ
s、ポーツマス条約 t、リヤオトン半島 u、樺太 v、満州 w、賠償金がなかった x、韓国併合
y、関税自主権 z、小村寿太郎 A、中华民国 B、孫文 C、三民 D、辛亥
E、工場制手工業(マニュファクチュア) F、~工場制機械工業 G、軽工業 H、重工業
I、足尾銅山鉍毒 J、労働争議 K、大逆 L、幸徳秋水

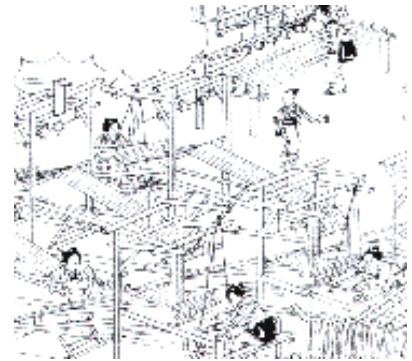


図2

